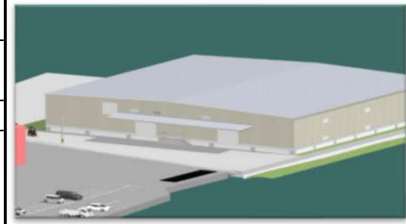


## CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 サンファミリー 倉庫	階数	地上2F
建設地	兵庫県加古川市	構造	S造
用途地域	無指定地域、防火地域指定なし	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2025年11月17日
敷地面積	9,197 m <sup>2</sup>	作成者	(株)ヨネダ 山路 勇樹
建築面積	2,486 m <sup>2</sup>	確認日	2025年12月31日
延床面積	4,882 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																														
<p><b>BEE = 0.7</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>個別計算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>建設</th> <th>修繕・更新・解体</th> <th>運用</th> <th>ロフト</th> <th>ロフト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>75%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>33%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>33%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>このグラフは、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量を評価者自身の計算(個別計算)により算出した結果を示しています。WLC算定条件等については、「WLC算定条件シート(個別計算)」を参照ください。</p>	項目	建設	修繕・更新・解体	運用	ロフト	ロフト	①参照値	100%	0%	0%	0%	0%	②建築物の取組み	75%	0%	0%	0%	0%	③上記+②以外の	33%	0%	0%	0%	0%	④上記+	33%	0%	0%	0%	0%	
項目	建設	修繕・更新・解体	運用	ロフト	ロフト																											
①参照値	100%	0%	0%	0%	0%																											
②建築物の取組み	75%	0%	0%	0%	0%																											
③上記+②以外の	33%	0%	0%	0%	0%																											
④上記+	33%	0%	0%	0%	0%																											

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 <b>Qのスコア = 2.5</b>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.6</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.4</p>
LR 環境負荷低減性 <b>LRのスコア = 2.8</b>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.1</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.5</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.6</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	周囲の環境や景観を考慮した建物外装の決定	その他 特になし
Q1 室内環境	特になし	Q2 サービス性能 十分な空間の広さと高さを確保した。
Q2 サービス性能	十分な空間の広さと高さを確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に十分な緑地を確保し、周辺環境に調和するような形状・色彩に配慮した。
LR1 エネルギー	特になし	LR2 資源・マテリアル 建築基準法による基準を順守した。
LR2 資源・マテリアル	建築基準法による基準を順守した。	LR3 敷地外環境 環境に配慮した工場計画及び運営を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される